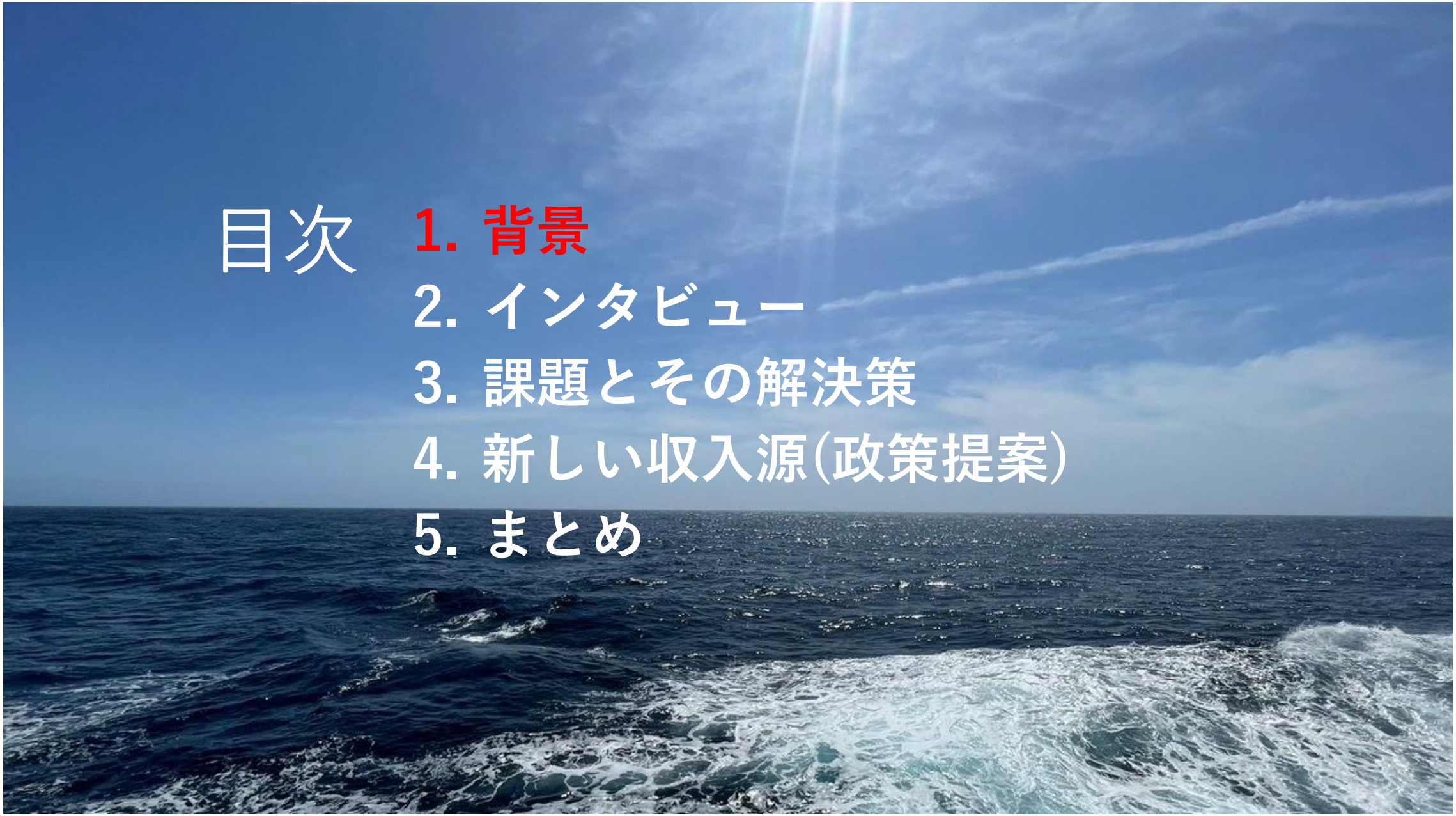
生き抜け！水産業界

丸山・佐藤・玉本・石井



目次

1. 背景
2. インタビュー
3. 課題とその解決策
4. 新しい収入源(政策提案)
5. まとめ

背景

テーマ

地域 ✖ **サステナブルな調達**

業界

「水産業」に着目
⇒**地域**の雇用・経済の活性化に寄与
⇒**サステナブル**な「魚の調達」が食料確保の観点から重要

課題

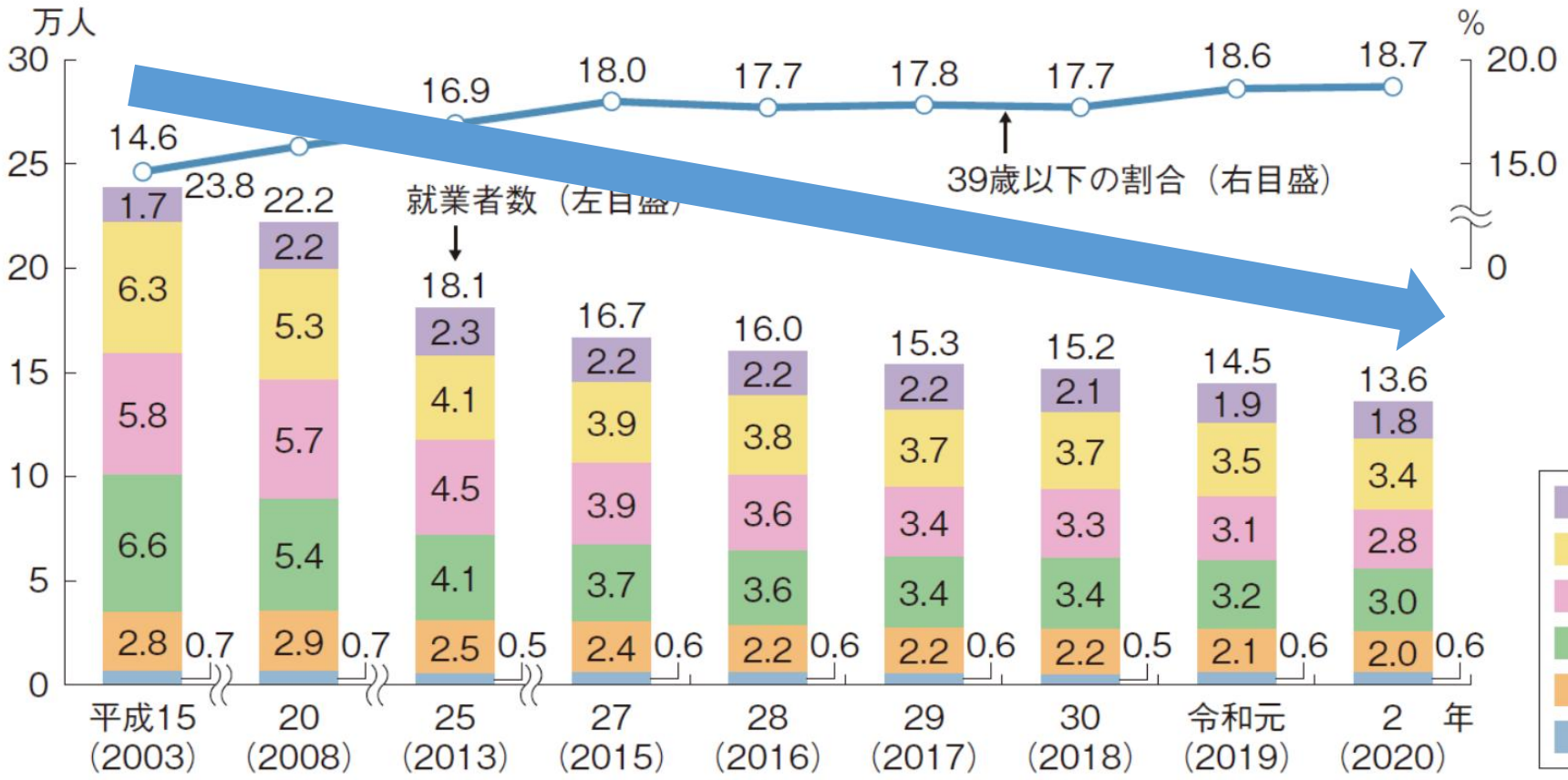
地域	サステナブルな調達
地域での雇用 地域経済	人手不足・漁獲量減 消費量減少

提案

持続的な漁獲漁業の実現に向けた取り組み

背景　―人手不足―

漁業就業者の推移

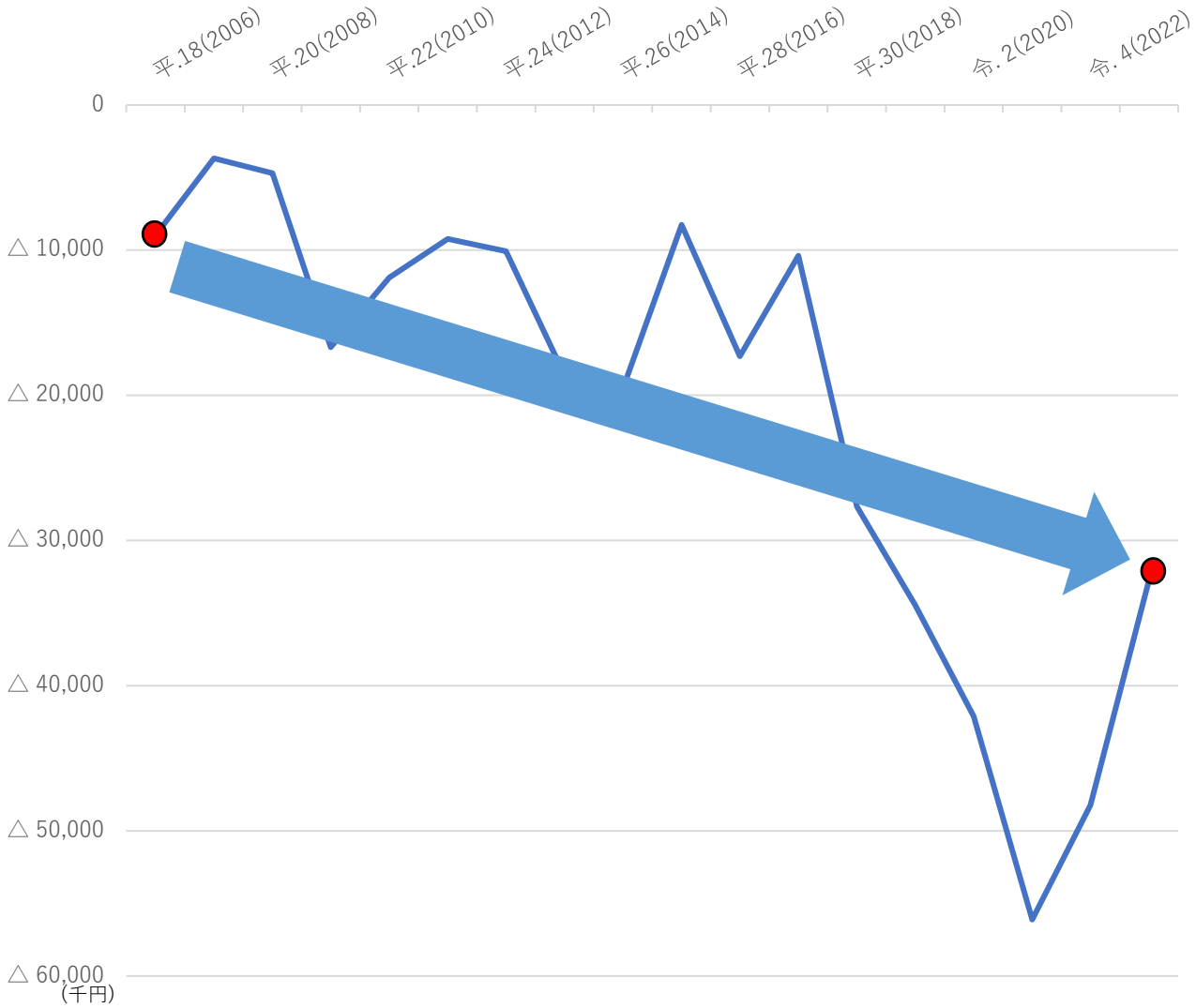


- **人手不足**が深刻化
- **高齢者に依存**した産業構造

(出典)水産庁｜令和3年度水産白書 (3) 水産業の就業者をめぐる動向(ホームページ)

背景　―地域経済の衰退―

漁労利益(会社経営体)



(出典)e-Stat｜令和元年漁業経営統計調査報告より会社経営体調査（漁船漁業平均）累年統計 を基に筆者作成(ホームページ)

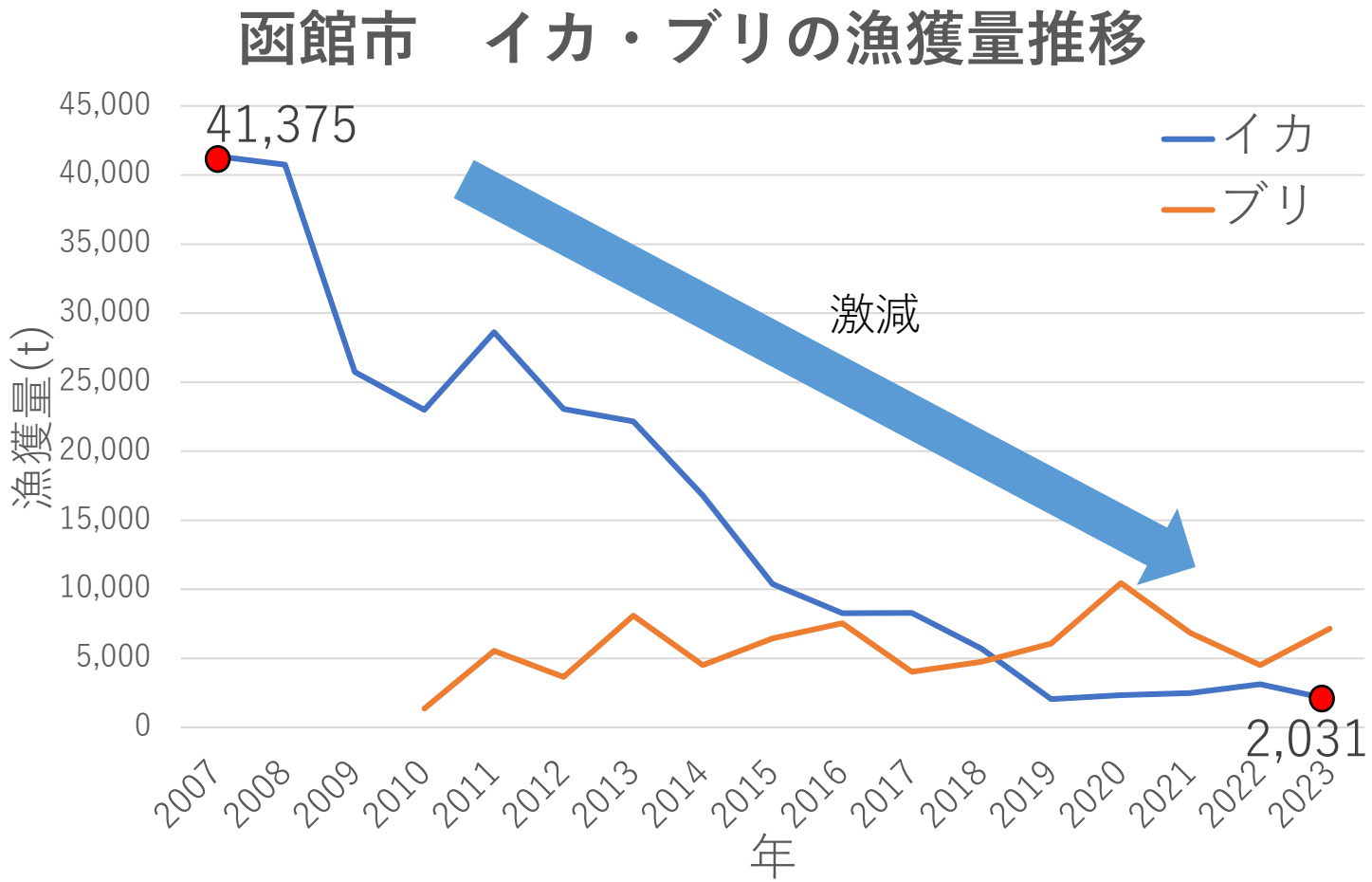
漁労利益の減少は、
漁業者の生活だけでなく

- 加工業（仕入れ減）
- 飲食業
  （地域産魚介の入手困難）
- 地方自治体
  （水産関連税収の減少）

などに波及し、
地域経済の衰退を
加速させる要因となりうる

(参考文献)　金子,廣田,牧野.『漁業管理が地域経済に与える影響の定量的評価法の開発ー90年代の釧路市におけるマイワシを事例にー』日本水産学会誌.79(3),422-432(2013)(PDF)

背景　―漁獲量減―



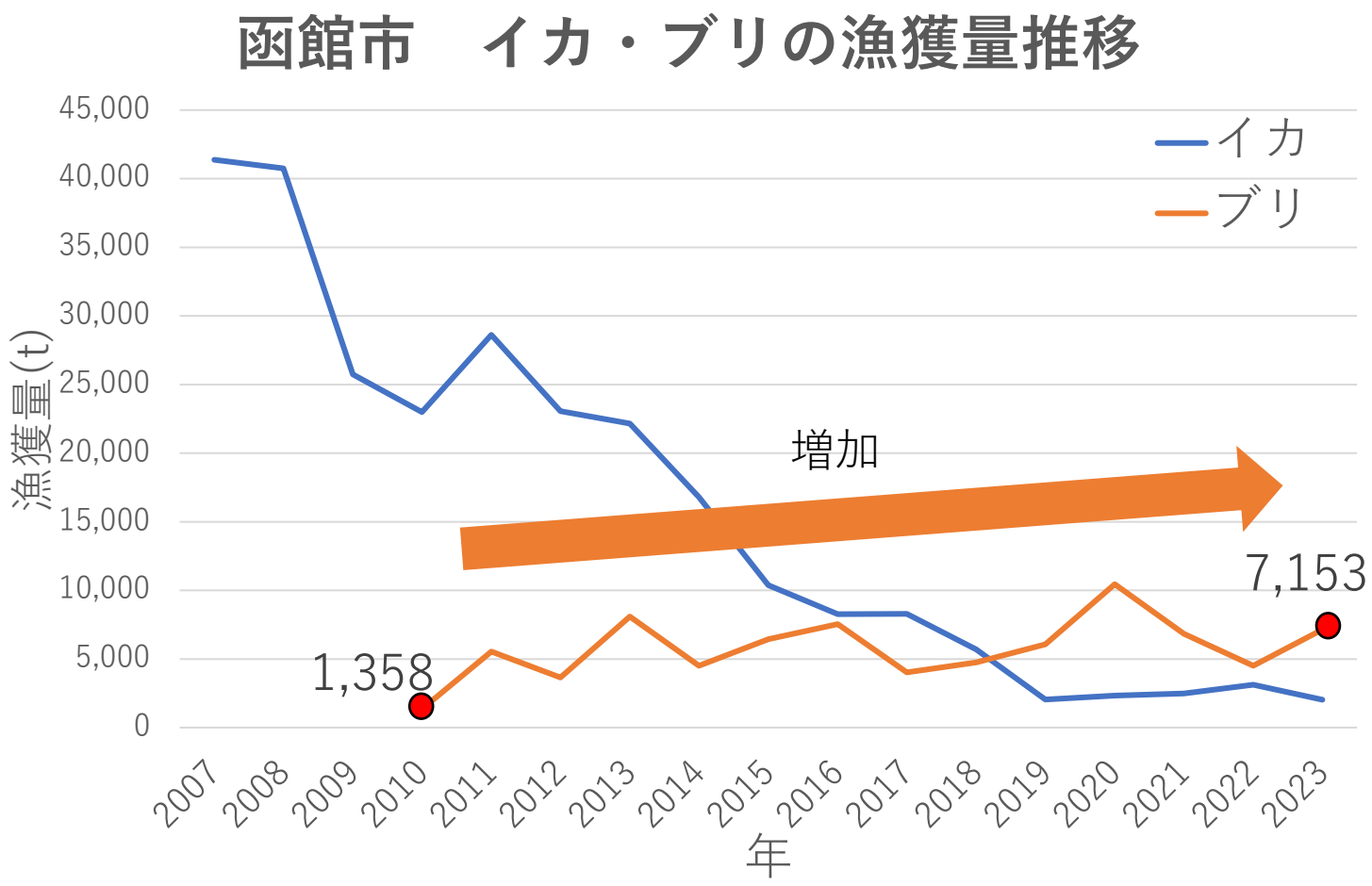
（出典）函館市農林水産部｜平成29年（2017年度）函館市農林水産概要より水産業（PDF）、
函館市農林水産部｜令和5年度（2023年度）函館市農林水産概要（PDF）を基に筆者作成

「イカの街」函館市

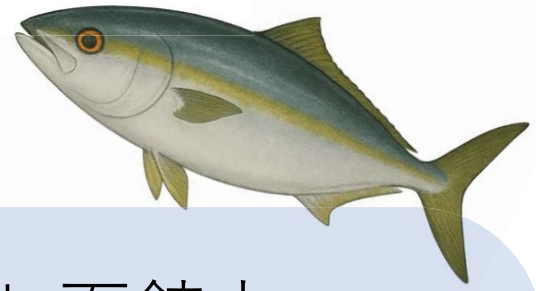
・イカの漁獲量が大幅に減少
→**温暖化**などの影響

（出典）水産庁｜不漁問題に関する検討会とりまとめ　（PDF）

背景　―漁獲量減―



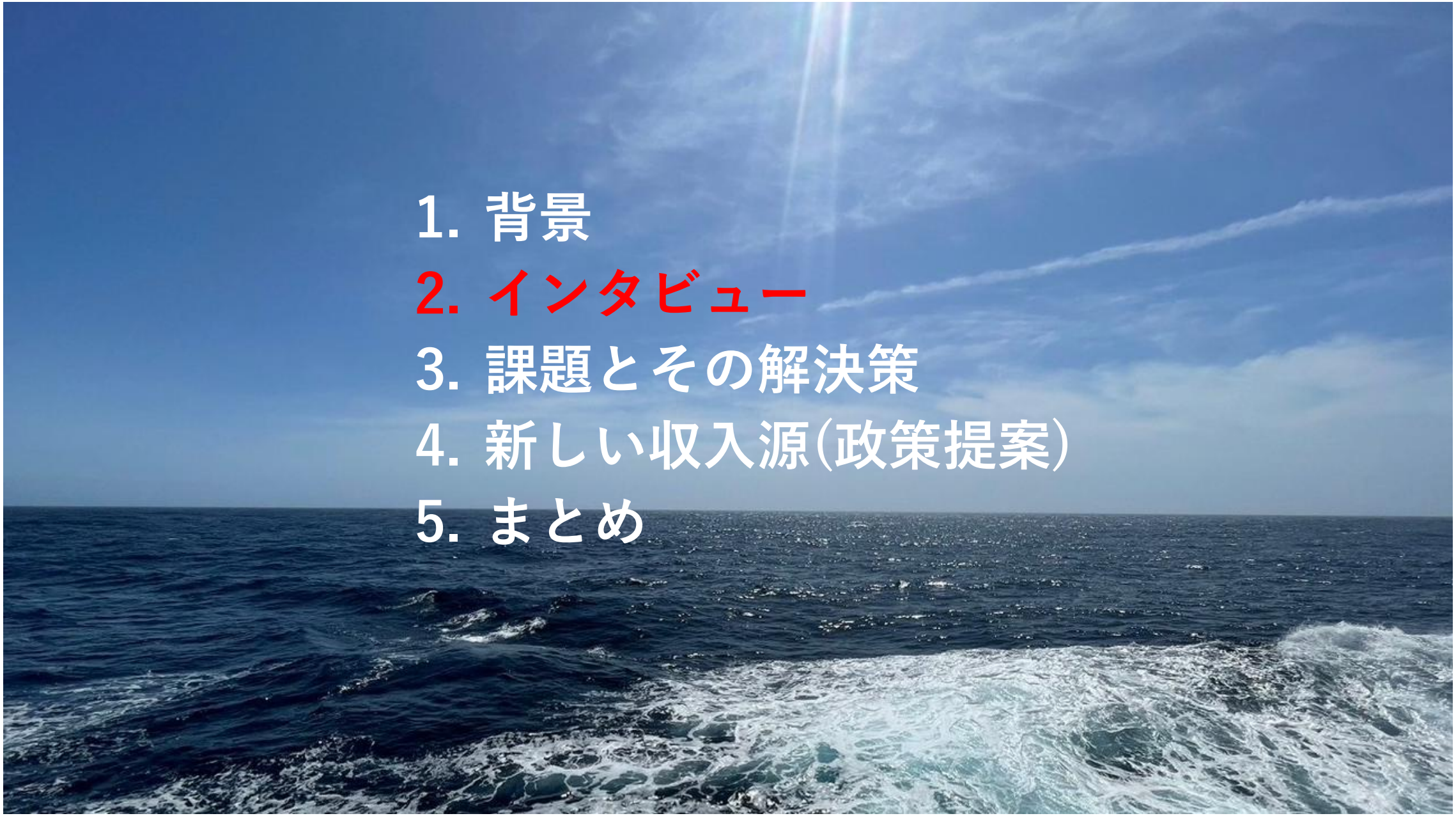
（出典）函館市農林水産部｜平成29年（2017年度）函館市農林水産概要より水産業（PDF）、
函館市農林水産部｜令和5年度（2023年度）函館市農林水産概要（PDF）を基に筆者作成



「イカの街」函館市

・イカの漁獲量が大幅に減少
⇔ブリが増加
⇒**獲れる魚種が変化**

→魚種が変わると
漁具や漁法が変わるため
移行が難しい



1. 背景
2. インタビュー
3. 課題とその解決策
4. 新しい収入源(政策提案)
5. まとめ

漁師経験者にインタビューを実施

・脱サラして漁師に
・ウニ、アワビなど
・身内に漁師なし

漁業従事者Aさん

・学生
・1年漁師として就業
・身内に漁師なし

漁業従事者Bさん

インタビューの回答

・漁師の参入障壁

漁業従事者Aさん

制度上の課題について

・漁業協同組合加入のための初期費用約100万
・２年漁師見習いとしての経験
・永住ルール
新規参入者にとってハードルが高いことを痛感

漁業従事者Bさん

保守的な文化について

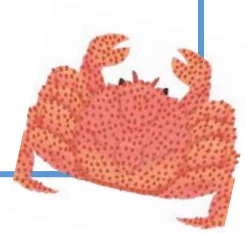
・漁師の弟子入りを断られる経験
外部の人が漁村に飛び込むことの難しさを実感

インタビューの回答

・柔軟な環境変化への対応

近くで今まで漁獲していなかった毛ガニが増えた
しかし、
・漁獲するためノウハウを持っていなかった
・漁協から許可が下りなかった
そのため、実現まで年単位の時間を要した

漁業従事者Aさん



インタビューからわかった漁師が抱える課題

①漁師になる敷居の高さ

制度上の課題

・漁協加入のための出資金

・所得ゼロ期間

・永住ルール

・見習い年数要件

・高額な初期投資

（漁船・漁具・燃料）

保守的な文化

・師弟関係

・家族や血縁関係

・技術継承や教育の難しさ

②環境変化による影響

獲れる魚種の変化

・漁業方法や方針転換

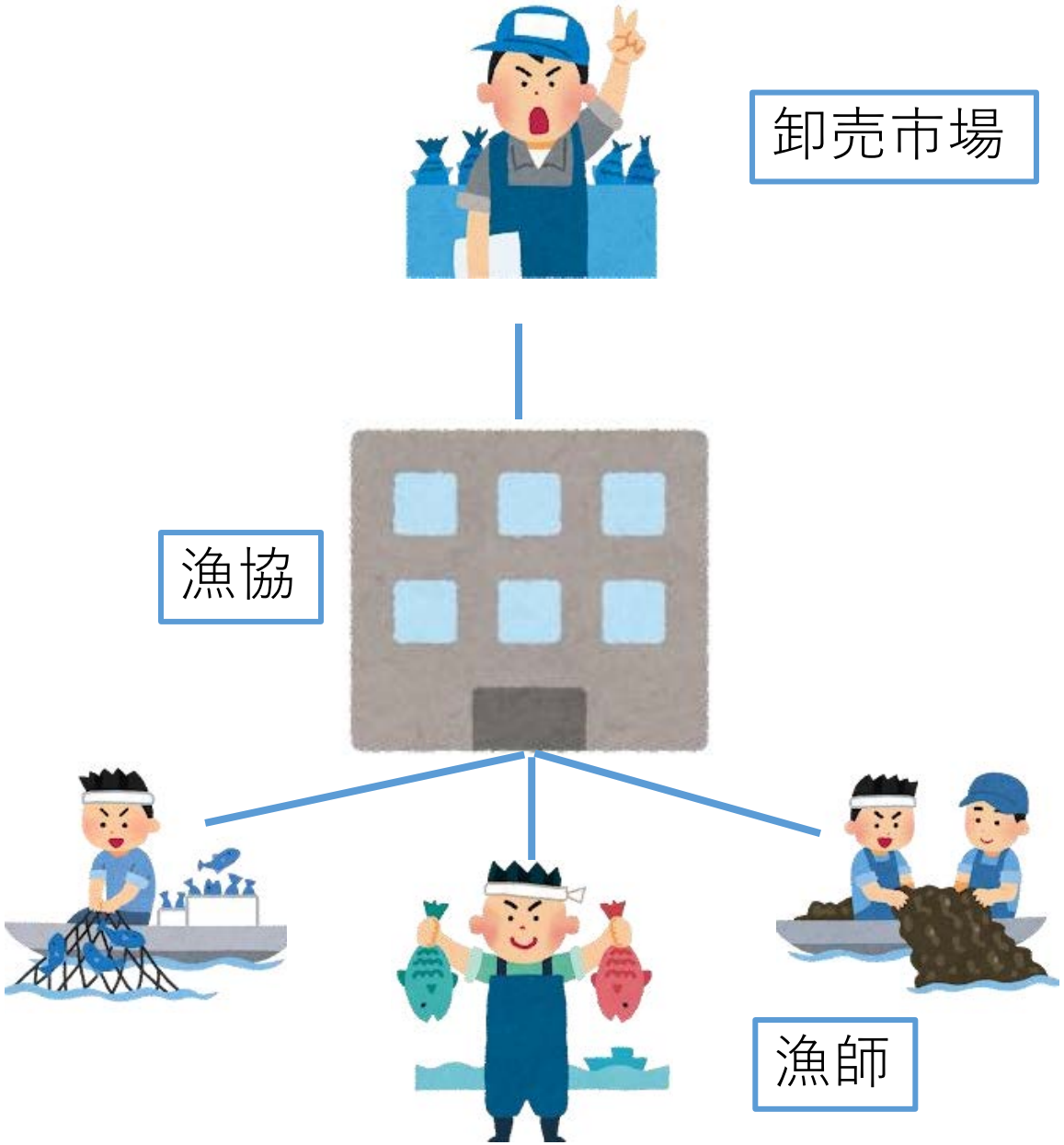
・漁具や漁法転換による高額出費

・漁協からの貸出許可に必要とする時間

そもそも漁協とは？

- 漁協は、漁業者の生産活動を支えるという本来的な役割を担っており、販売、購買、指導事業等を中核に各種事業を実施。また、漁業権の管理、資源管理の実施、担い手の育成等における漁業・漁村における中核的組織としての役割も担う。

（出典）水産庁水産経営課｜漁業協同組合及び水産金融について（PDF）



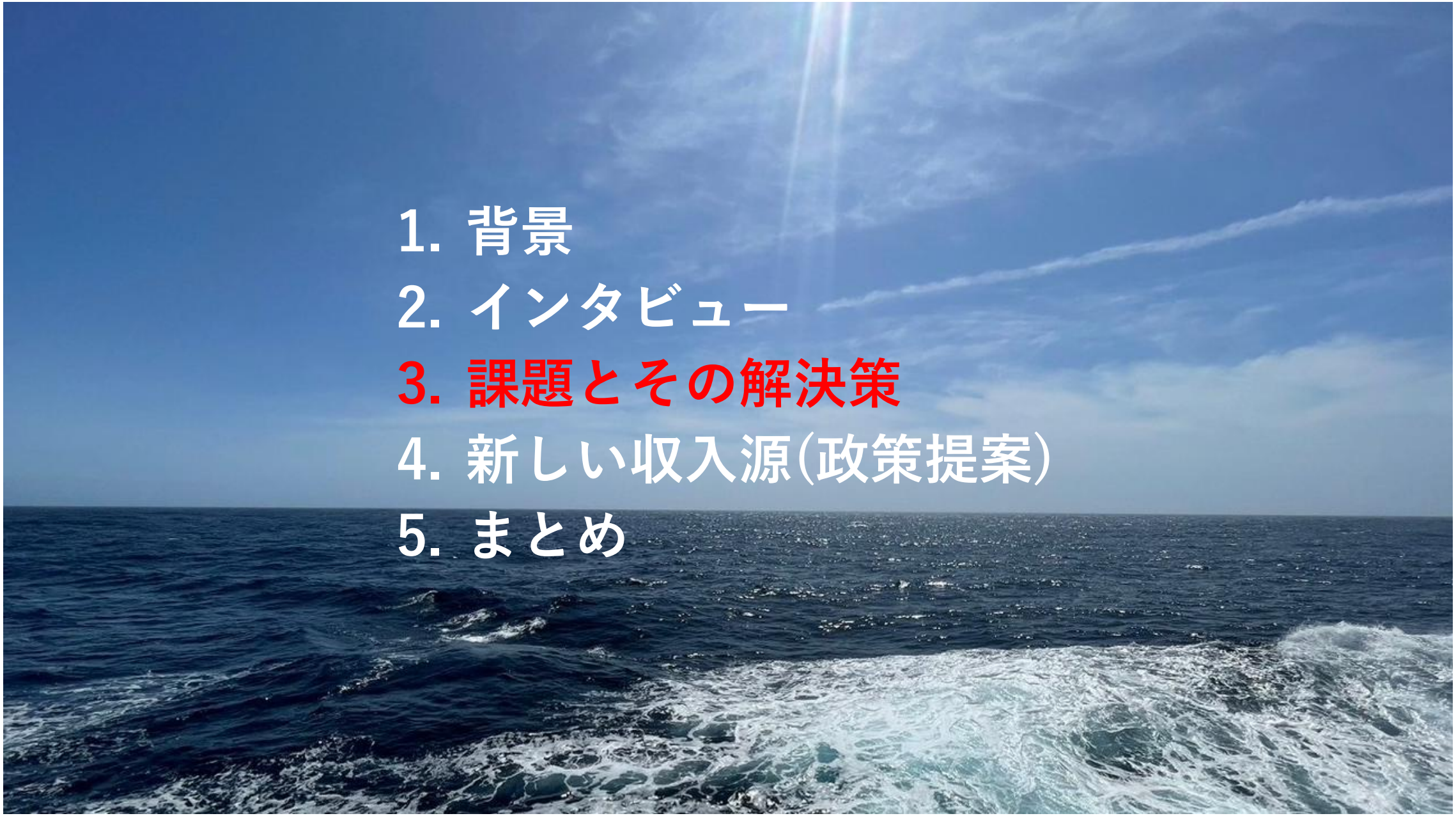
インタビューの結果

漁師になる敷居の高さ？

環境変化への対応？

漁師個人で解決できる課題ではない

⇒**漁協のシステム**を変える必要がある



1. 背景
2. インタビュー
3. 課題とその解決策
4. 新しい収入源(政策提案)
5. まとめ

漁協がとるべき具体的な解決策
〈①漁師になる敷居の高さ〉

<u>制度上の課題</u>

・漁協加入のための出資金

・所得ゼロ期間

・永住ルール

・見習い年数要件

・高額な初期投資

（漁船・漁具・燃料）

〇制度の改革

・福利厚生の充実化

・住居の補助

新たな補助金、
給付金、支援制度の
お金の出どころを
検討すべき

漁協がとるべき具体的な解決策
〈①漁師になる敷居の高さ〉

保守的な文化

・師弟関係

・家族や血縁関係

・技術継承や教育の難しさ

○持続的な漁協を目指し
若者の一括採用を増やす

・新卒採用、インターン

・メンター制度の導入

・学校教育への参入

大規模な
採用活動や広告には
沢山の費用が必要

漁協がとるべき具体的な解決策
〈②環境変化への対応〉

<u>環境変化による影響</u>

・漁業方法や方針転換

・漁具や漁法転換による
高額出費

・漁協からの許可の
ための所要時間による弊害

〇新たな対応

・漁協で多様な漁具を用意

・科学的調査と資源管理
研究機関と協業

資金源の
確保が必要

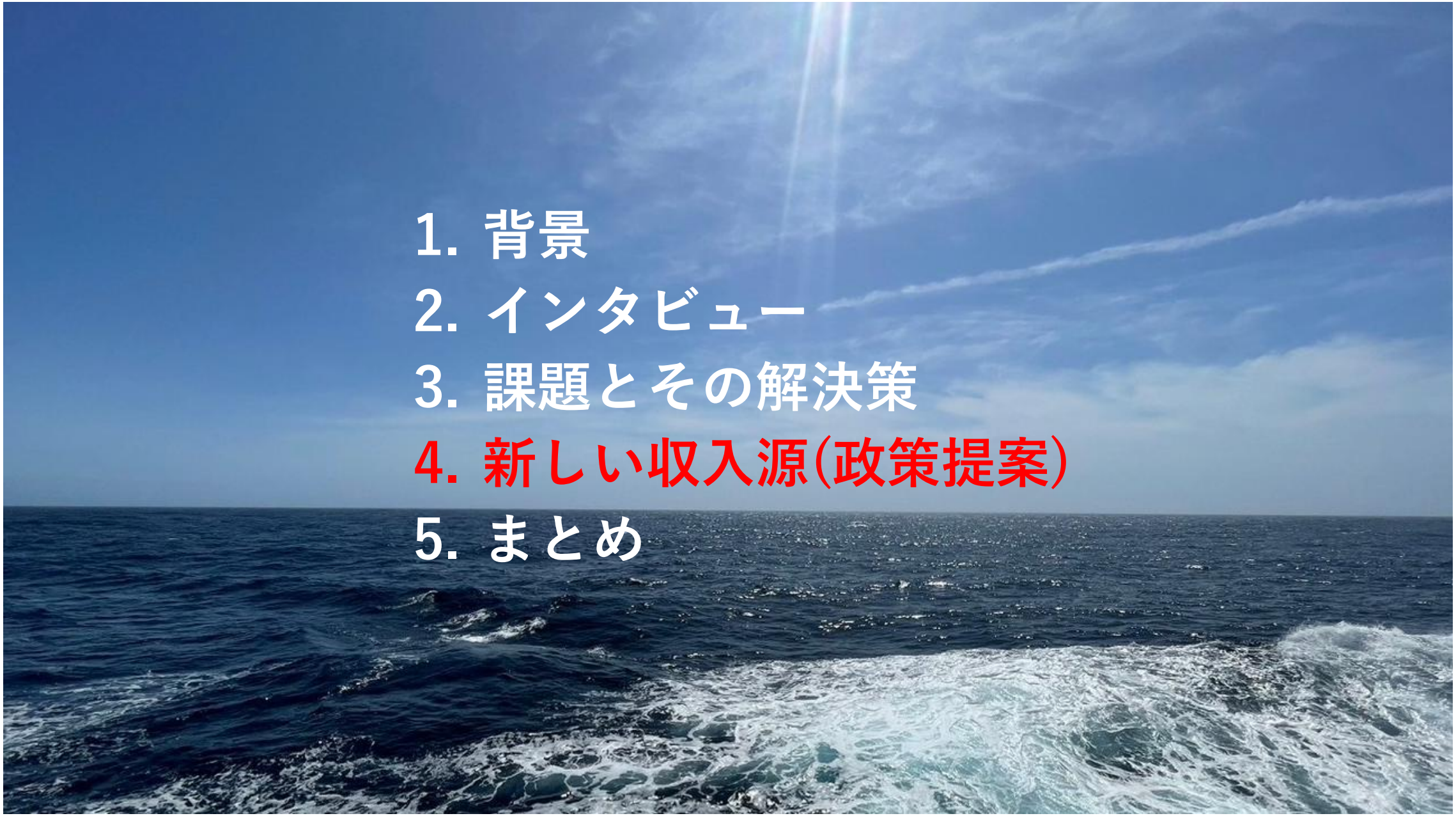
新たな補助金、
給付金、
支援制度の資金

大規模な
採用活動や広告の
ための費用

漁具購入や
調査依頼の
ための資金

①漁師になる敷居の高さ②環境変化による影響

いずれの課題を解決するにも資金が必要

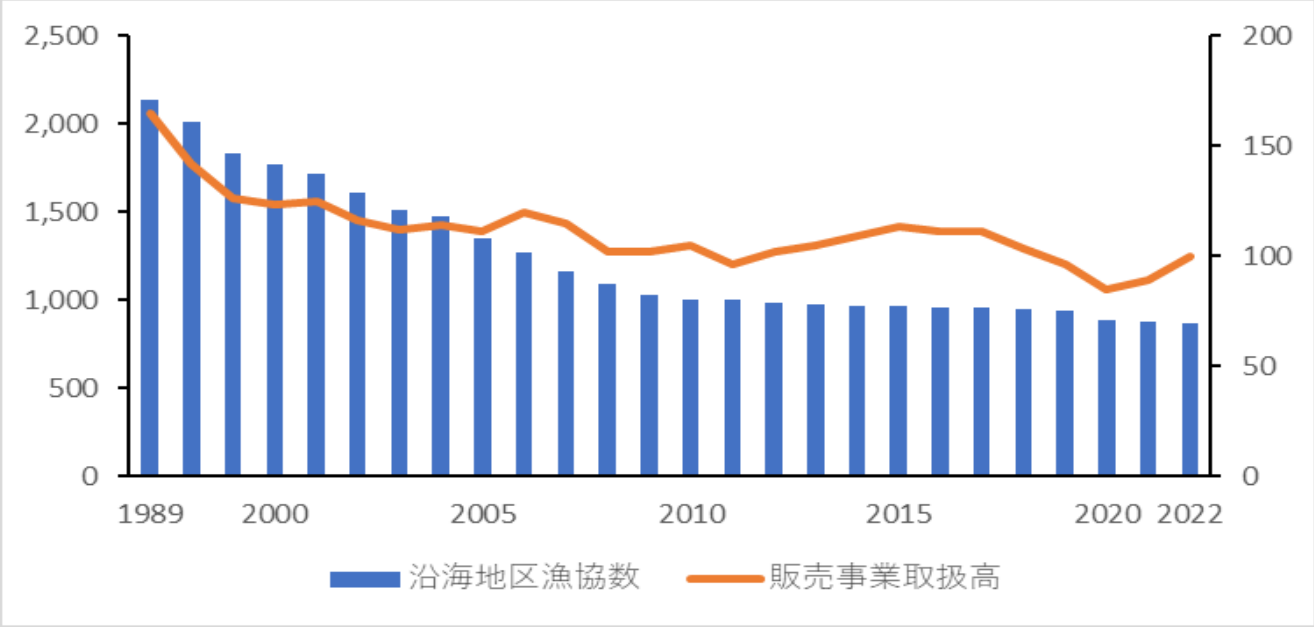


1. 背景
2. インタビュー
3. 課題とその解決策
4. 新しい収入源(政策提案)
5. まとめ

漁協の財政状況の説明

- 変化する経営環境に対応することは非常に困難であり，経営不振に陥り合併する漁協が多数報告されている
- 漁協の経営は漁業者の生産に大きく依存するため，漁業の生産が縮小する局面では収益もそれに合わせて減少する。

漁協および漁業者に新たな収入源を！



水産庁「水産業協同組合年次報告」（沿海地区漁協数）、「水産業協同組合統計表」（販売事業取扱高）及びJF全漁連調べ（合併参加漁協数）のデータから作成

(出典)水産庁｜令和5年度水産白書（PDF）
近畿大学｜我が国の漁業協同組合の財務・経営分析（PDF）

海の環境を守ることを職業に

- 漁協がもつ海を守る活動（資源管理）そのものが金銭的価値となれば,
  経営の安定化および新たな投資を始めることができるのではないかと考えた
  →ブルーボンドおよびブルカーボンクレジットに着目！！

- **ブルーボンド:**海洋資源の持続可能な利用を目的とした活動を促進する債権
  →資源管理を行っている漁協が投資家から低い金利でお金を借りることができる

千葉市
令和5年12月にブルーボンドを発行した

項目	**発行概要**
年限	10年（満期一括償還）
発行額	30億円
利率	**0.884%**
使用用途	浄水センター整備事業，ポンプ
投資家の傾向	地元の金融機関や民間企業が投資者

※日本政策金庫　9年超10年以内2.05%

(出典)野村資本市場研究所｜ブルーファイナンスを促進するブルーボンド実務者ガイドと日本の課題（PDF）
千葉市役所｜千葉市ブルーボンドのご案内（PDF）

海の環境を守ることを職業に

- **カーボンクレジット制度:**企業や団体がどうしても減らすことができなかったCO2排出量の埋め合わせのため，CO2 の削減・吸収に取り組んだ団体から削減量を買い取る制度
- Jブルークレジットを利用すれば，海藻の養殖や沿岸海域の保全などでCO2削減に貢献することで，**一定の用途で使える収益を得ることができる**

環境保全の活動を通じて，利益を得ることができる

民間企業等

資金・人材

炭素クレジット

NPO等

新たな事業機会の展開を目指している企業は漁業者の創出するクレジットを好んで購入する

2021年度Jブルークレジット取引概要	
譲渡総量	64.5t-CO2
購入総額（税抜き）	約460万円
平均単価（税抜き）	**72,816円/t-CO2**
参考: 2021年度再エネ発電（J-クレジット）	**2,536円/t-CO2**

(出典)漁港漁場漁村総合研究所｜ブルーカーボンクレジットを活用した 藻場の維持・保全体制の構築に向けて (pdf)
新電力ネット｜Jクレジット価格の推移(pdf)

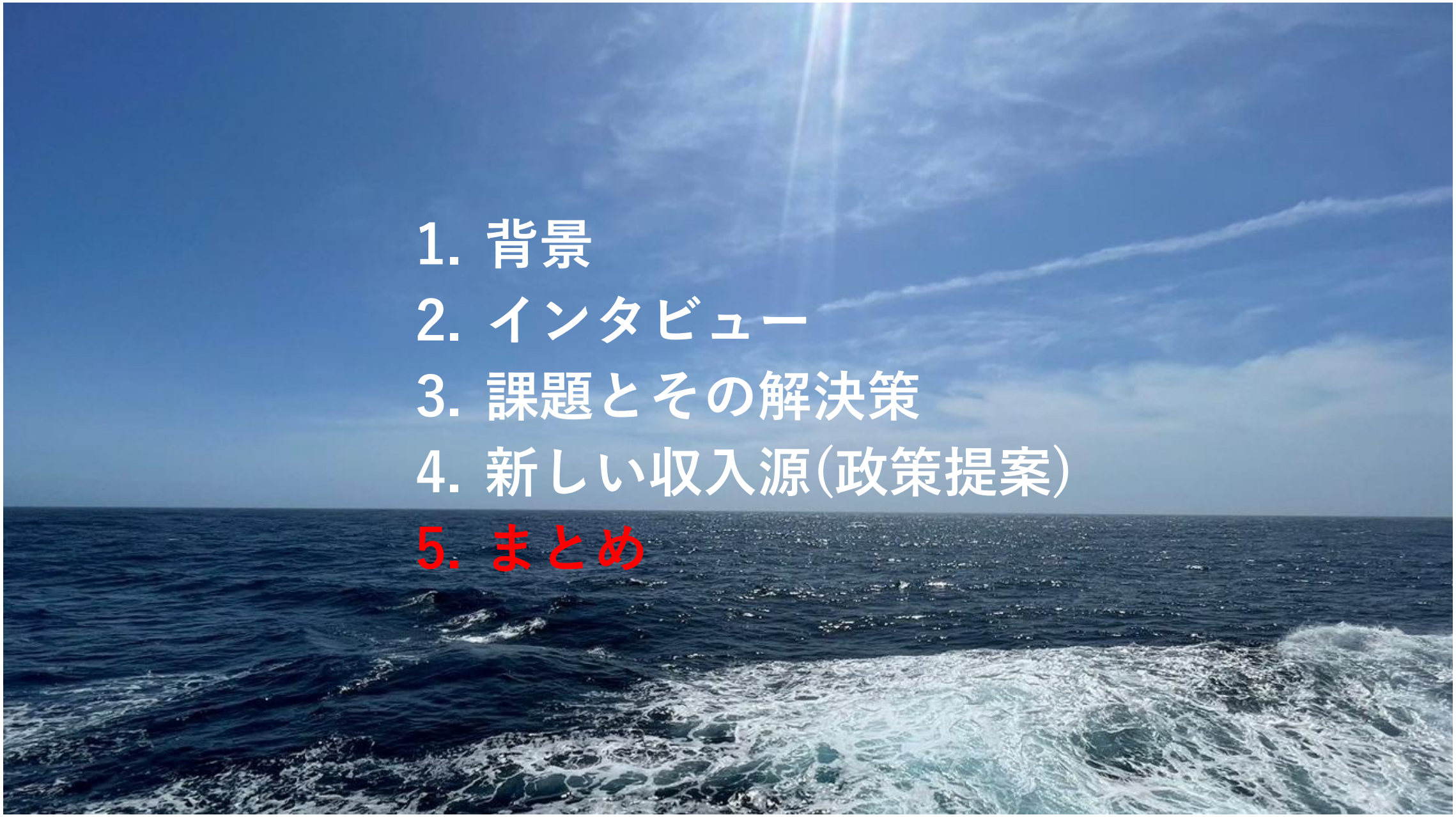
漁協がするべき取り組み

- **ブルーボンド**
  - 投資家からの認知度の獲得
  - 資金繰りの公開による投資家の信頼度獲得
  - 行政や自治体からの補助金との明確な差別化

- **ブルーカーボンクレジット**
  - 自主的な活動であることの明示
  - 吸収量の調査や算定
  - クレジットの申請

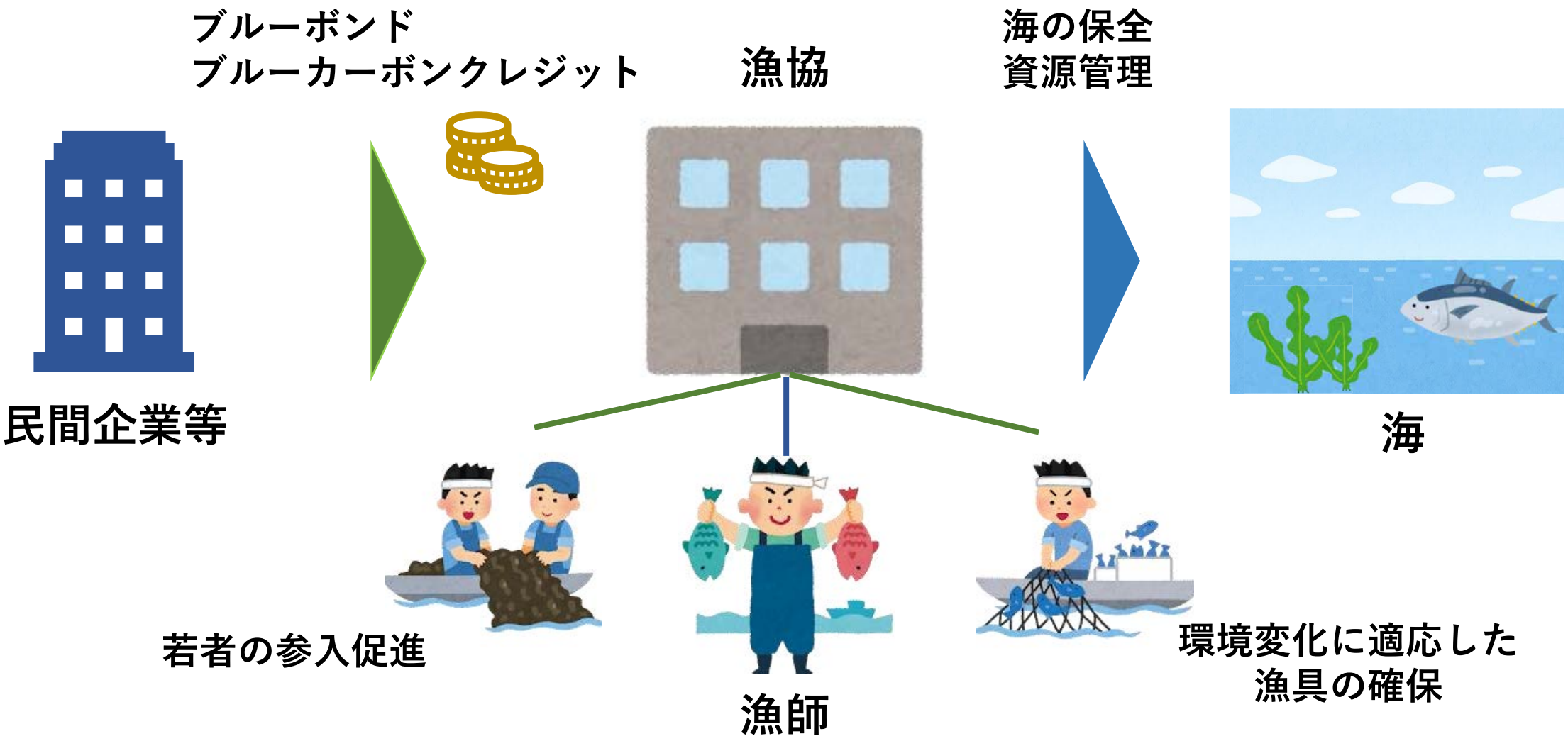
↓

金融機関やこれらの取り組みに詳しい組織と共に取り組んでいく必要がある



1. 背景
2. インタビュー
3. 課題とその解決策
4. 新しい収入源(政策提案)
5. まとめ

我々が考える持続的な水産業



持続的な漁獲漁業を通して，新たな雇用，地域経済の活性化，食料確保の実現へ